

平成26年度 八万小学校「学力向上実行プラン」

1 学力・学習状況における現状分析, 目標等

(1) 基礎的・基本的な知識・技能の習得

児童生徒の状況				
よ さ	<ul style="list-style-type: none"> ・言語や数に関する基本的な力はあ る。 ・課題に対する意欲は高い。 	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%; text-align: center;">課 題</td> <td style="width: 85%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・話し手の意図を捉えながら聞く。 ・目的に応じて文章を読み, 要旨をまと める。 ・量感に乏しい。 </td> </tr> </table>	課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・話し手の意図を捉えながら聞く。 ・目的に応じて文章を読み, 要旨をまと める。 ・量感に乏しい。
課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・話し手の意図を捉えながら聞く。 ・目的に応じて文章を読み, 要旨をまと める。 ・量感に乏しい。 			
具体的目標(目指す子どもの姿)	成果指標	達成状況		
生活体験や習ったことをもとに新しい 課題に取り組む子	「授業中がんばって 勉強している」の項 目が85%を超える。	----- 評価		
具体的方策(教員の取組)	取組指標	取組状況		
<ul style="list-style-type: none"> ・朝の活動や家庭学習の内容を充実させ る。(視写, 単文作り, 暗誦, 読書等 を推奨する。) ----- * 中間期の見直し	「体験を取り入れた り, 教材教具を工夫 した授業ができてい る」の項目が90%を 超える。			

(2) 知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況				
よ さ	<ul style="list-style-type: none"> ・示された情報をもとに必要なもの を選択する。 ・考えたことを多様な方法でかく。 	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%; text-align: center;">課 題</td> <td style="width: 85%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・文章を分析的に捉える。 ・条件や資料を関連づける。 ・量感覚 以上の力が乏しい。 </td> </tr> </table>	課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・文章を分析的に捉える。 ・条件や資料を関連づける。 ・量感覚 以上の力が乏しい。
課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・文章を分析的に捉える。 ・条件や資料を関連づける。 ・量感覚 以上の力が乏しい。 			
具体的目標(目指す子どもの姿)	成果指標	達成状況		
自分の考えと比較しながら聞ける子	聞く力にかかわる 項目が90%を超える。	----- 評価		
具体的方策(教員の取組)	取組指標	取組状況		
<ul style="list-style-type: none"> ・筋道を立てて考えた過程を振り返った り, 文の定義を理解し構成に注意しな がら読んだりする指導を継続する。 ----- * 中間期の見直し	「コミュニケーション 能力を向上させる 指導を行っている」 項目が90%を超える。			

(3) 主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況			
よ さ	・「学習活動に真剣に取り組むことができる」「家庭学習の定着を図ることができる」の項目が保護者アンケートで80%を超えている。	課 題	・数名であるが、学習に対する構えができてない児童が見られる。 ・またその児童に影響を受けていると思われる児童も見られる。
具体的目標(目指す子どもの姿)		成果指標	達成状況
目標に向かって、学習したり、活動したりすることができる子		生活習慣にかかわる項目が90%を超える。	----- 評価
具体的方策(教員の取組)		取組指標	取組状況
<ul style="list-style-type: none"> ・学習ルールを徹底する。 ・学年便りや懇談等で、家庭への啓発や協力を呼びかける。 ----- * 中間期の見直し		「学ぶ意欲を育て、家庭学習の習慣化を図るよう指導している」の項目が95%を超える。	